

【長崎県】【長崎労働局ハローワーク長崎】

造船業での人材確保のため、共同事業として職場見学会を実施

【課題・目的】

県の基幹産業である造船業においては、グローバル化に対応した事業戦略が求められており、従来型造船から高付加価値船に特化した造船への展開を図る必要がある。

このため県の産業政策と連携した雇用創造策や人材育成を行い、地域に安定的で良質な雇用を生み出す。

【実施概要】

戦略産業雇用創造プロジェクトに基づく造船業の職場見学会を、県と国が共同で実施。

【役割分担】

【長崎県】

- ◆見学企業の開拓
- ◆見学会全体の運営管理
- ◆参加者の把握

【ハローワーク】

- ◆地域求職者への周知
(リーフレット配布、所内放送の実施、雇用保険受給者説明会での周知)



＜長崎県コメント＞

国との連携で県南地区3回、県北地区1回開催。求職者が造船関連企業の仕事内容を理解し、就職促進に繋げたい。引き続き実施予定。

＜労働局コメント＞

県と労働局が緊密に連携した共同事業を行うことにより、地域での雇用対策が効果的に推進されるものと期待しております。

【効果】

ハローワークでの求職者への周知や集合場所をハローワーク内にするなど、県と一体となり開催した結果、4回の開催で60名の参加があり、うち3名は造船業での就職が決定。